

ウィニペッグを訪れた美合小の子供たちは、グローブナー小学校の子供たちと友情を深めていった。



取組み合いのけんかをした男子、六日目には恋(?)のさや当てをする女子も現われる始末であった。おっとりとした機敏、身体で感情を表わすのと静かさとの違いのままに、両者は友情を深めていった。

カナダの子らは、来日前、「便所」「痛い」など十余りの単語を学んできたが、日本語になじみず、通訳の配置で苦勞した。日本の子は、三か月の日常会話特訓で五十程度の基本型をものにし、簡単な辞典を使う練習をしたおかげで、どうやら意思が通じた。

あるパーティーで、子どもたちが「くじら」論議をしていた。日本側は、おぼつかない英語に手真似をまぜながら、先日見学した家畜市場をとり上げ、「君た

ちはあの可愛い目をした子牛まで食べる。日本の国は狭くて牛を飼う土地が少ないのに、人口は多い。だから海のものを食べなければならぬ」と力説、カナダ側も「うなずいて日加捕鯨会議は円満に妥結した。うちの子もなかなかやるな、と思う一幕であった。

何でも知れたがる求知心、さりげない慎しみ深さ、活発な行動力などが奇妙に調和して、「愛くるしくてバイタリティに満ち、礼儀正しい小さな大使たち」と、帰国後も評判だったという。アン校長は、「私どもはみんな、彼らをもっと長く手許におきたかったと思っています。あなたは、あのような立派な子どもたちを持つて、あのような誇るべきでしょう」と書いてよこした。

私たちが未知へ挑戦し、ささやかな成功を収め得たのは、全く「人の和」のおかげである。

受入れ、訪問を通して、学区はいち早くその計画を全幅的に支持してくれた。私は世田谷区役所(ウィニペッグ市と姉妹都市で、中学生相互訪問を実施中)、カナダ大使館、外務省の指導を受けつつ、カナダ側と緊密な連絡をとりながら万全の計画を練り、市・県当局に承認を懇請した。やがて文部省は来訪児童の日本学校安全会への一時加入を認め、夏休み以外の海外学習を正規の授業と認めてくれた。日本交通公社、日航、CP(カナダ太平洋航空)も、特別の便宜を図ってくれた。

ある町内では、カナダ児童のため秋祭りの期日を変更し、他の町内では町民運動会を催し、ある家庭では身内の結婚式に振り袖を着せて参列させた。カナダからくる子供たちのためにトイレを改造した家も多い。

全父兄は廃品回収を重ね、不用品寄贈即売会を開いて資金をつくらせてくれ、市長はじめ市当局、市内五十四の国公立小中学校、ロータリーやライオンズの各クラブも、学区外の多くの市民も、支援協力を惜しまなかった。

カナダ側も全く同じで、アン校長の熱意に応え、PTAは全力投球を続け、市・州当局、日系人、教会等、市をあげて支援したという。父兄はバザーを開き、クッキーを作って売り、市教育局は助成金を支出した。受入れ家庭の母親たちは、米飯と味噌汁の講習会を開き、テキストを日本から取りよせて会話を学んだ。

日本の子どもたちに、より見聞を広め、より多くの人々と接触させ、より豊かな体験をさせようと研究を重ねて計画を練り、訪問・見学や集会・パーティーに連れて廻った。

「百聞は一見にしかず」とか「可愛い子には旅をさせよ」は英語にもあるように、万国共通の箴言であり、子どもを愛するのにもまた共通である。双方が払った大きな努力と自己犠牲は、すべて、豊かな未来を築き、次代を担う若者に対する深い愛情と大きな期待、さらには、日加両国の友好親善を一層深めようとする願いからに外ならない。

カナダ人と日本人は、全然異なる面を持つと同時に、全く同じ面を持つ。お寺で日系市民の奥さん方が昼食会を催してくれた日、子どもたちがお札に「ふるさと」「かあさん」「ホトンボ」などを歌った。はるばる海を越えて訪れた、まだ見ぬ父祖の国の健な気な子どもたちの歌声に、大人たちは抱き合って泣きぐずれ、私どももみんな涙にかきくれた。列席していたほかのカナダ人も、全員もらい泣きをしてしまった。終りに挨拶に立ったアン校長も、一言も言葉が出ず、テーブルにつく伏してしまった。

二週間学校生活を共にしたカナダのある子は、「彼らと私たちとは、話し方も行動のし方もまるで違っている。しかし彼らと私たちとは全く同じだ」と言い、ある母親もまた同じことを述べていた。

グローブナーの子供たちを迎えた当時の美合の子供たちは、現在中学や高校に進んでいる。カナダを訪れた十八人は、今春、全員が高校に進んだ。交際はいよいよ深まり、みんな再会を期している。来夏家族揃ってカナダ行きを予定している子がいるし、先方にも、アルバイトで稼いで、訪日を準備している子がいると聞く。

私は現在の連尺小学校に転動して二年半。ウィニペッグの知己たちと音信をかわしながら、新たにB・C州のパニヤ小学校長と相知り、児童の文通と作品交換を続けている。二年足らずのうちに、百名をこす子がベン・フレンドをつくった。